

タスカルーサ国際姉妹都市協会新専務理事 シェリー・ドリルさんのご挨拶

タスカルーサ国際姉妹都市協会の新専務理事に就任いたしましたシェリー・ドリルです。素晴らしいリサ・キーズさんの後を継ぐ責任を担うことになり、興奮すると同時に身の引き締まる思いです。

私は、留学生や幼稚園児から 12 年生までの教育者、大学キャンパスの牧師、そして妻であり 2 人の娘と新しい義理の息子の母でもあります。それらを通して 20 年以上にわたってさまざまな経験を積んできました。私の人生とキャリアを通して、学問的、感情的、精神的な成長を促す個人的なつながりが変化を引き起こす力を常に信じてきました。

リサさんとは 20 年以上の付き合いです。ショーンドルフ（ドイツにある姉妹都市）への 2 度の青少年交流では、教師として付き添いを務める機会にも恵まれました。タスカルーサ出身であることを誇りに思い、市やアラバマ大学、タスカルーサ市立学校と強い協力関係を築いてきました。その経験を活かしてこの役割を担うつもりです。TSCI（タスカルーサ国際姉妹都市協会）理事会、地域のパー

トナー、ボランティアの皆さんと協力し、この組織の重要な活動を継続するとともに、新しくエキサイティングな方法で事業を拡大・強化することを熱望しています。

TSCI の使命への変わらぬご支援に感謝いたします。これからも TSCI は、文化の架け橋となり、地域社会を豊かにする有意義なつながりを築いてまいります。

よろしく願いいたします。



シェリーさん(左から 2 番目)とご家族